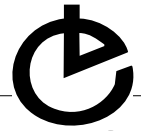


議会だより とくのしま



第172号

平成25年8月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



奄美群島市町村議会議員大会（天城町・15ページに関連記事）

第2回定例会

6月18日～6月21日

- | | |
|---------------------|---------|
| ☆ 審議された案件と議決結果 | P 8 |
| ☆ 一般質問（6氏登壇） | P 9～P13 |
| ☆ 議員研修レポート、議会の動き | P 14 |
| ☆ 第56回奄美群島市町村議会議員大会 | P 15 |
| ☆ 請願書並びに陳情書について | P 16 |

6 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・ 専決処分 (平成 24 年度一般会計補正予算第 13 号)	承 認
・ 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	原 案 可 決
・ 堆肥センター設置条例の制定	原 案 可 決
・ 鳥獣被害対策実施隊設置条例の制定	原 案 可 決
・ 相撲場設置条例の制定	原 案 可 決
・ 報酬及び費用弁償条例の一部改正	原 案 可 決
・ 総合食品加工センター美農里館設置条例の一部改正	原 案 可 決
・ 幼稚園保育料等徴収条例の一部改正	原 案 可 決
・ 社会教育委員条例の一部改正	原 案 可 決
・ 文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正	原 案 可 決
・ 町道の認定について	可 決
・ 土地開発公社の解散について	可 決
・ 平成 25 年度一般会計補正予算 (第 2 号)	原 案 可 決
・ 平成 25 年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・ 平成 25 年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・ 平成 25 年度介護保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・ 平成 25 年度公共下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・ 平成 25 年度地域包括支援センター事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・ 副町長の選任について (香山泰久氏)	同 意
(諮問)	
・ 人権擁護委員候補者の推薦について (幸田孝継氏)	適 任
(報告)	
・ 繰越明許費	
・ 公営住宅未払い賃料請求に関する訴訟の提起及び調停の申立て	
・ 平成 24 年度徳之島町土地開発公社決算	
(陳情)	
・ 「協同労働の協同組合法 (仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書	採 択
・ 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に係る意見書採択の要請	採 択
(発議)	
・ 「協同労働の協同組合法 (仮称)」の速やかな制定を求める意見書	原 案 可 決
・ 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に係る意見書	原 案 可 決

5 月臨時会 (第 2 回) で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・ 専決処分 (税条例の一部改正)	承 認
・ 専決処分 (国民健康保険税条例の一部改正)	承 認
・ 専決処分 (一般会計補正予算第 12 号)	承 認
・ 平成 25 年度一般会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・ 平成 25 年度水道事業会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決

いっばん質問

6月定例会には、6人の議員が登壇し、水道行政、地域防災対策問題等、医療・福祉問題、教育問題、さらに農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをただしました。質問と答弁の要旨は、次のとおりです。

対案と同時の答申に

広田 勉 議員



校になった場合には、校区民の理解を得た上で、方向性や取り扱いについても、引き続き協議していく。

地域活性化へ再利用

問 宮之原介護福祉課長
轟木・手々保育所は、閉所をして「高齢者いこいの家」のような地域活性化に再利用できないか、という集落からの意見があるの

で、公立保育所運営検討委員会から8月末をめどに町長へ答申が出される予定である。

町民への

広報は慎重に

問 亀津地区の名所・旧跡マップに「首切り浜」とあるが、不適切な表現では、「ムイ」を「森」

にして、「古勝森」とあるが「古勝盛」としたほうが島口と一致する。防災マップに存在しない「国民宿舎」の表記もあり、町民への広報を安易に考えている節がある。チェック体制と仕事への責任感ほ。

表現方法は検討

答 政木地域営業課長
表記は、郷土史家の奄美民話辞典や雑記集成等から引用した。表現方法によつては、島外から訪れる

人に誤解を招くので、文言や呼び名は表現方法を変えるか検討する。

簡易水道事業 統合計画とは

問 今年の奄振事業で、当町にも1億2千7百万円の予算配分があり「簡易水道事業統合計画」をするが、

水源地保全にも力を入れるのか、どのような計画か、詳細に。

老朽化した施設 の改良

答 白山水道課長
轟木浄水場と花徳地区の配水管をつなぎ、花徳地区の濁水時に対応する。

20年以上経過した配管の敷設替えと老朽化した各浄水場の施設の改良を行い、安定的な水道水の供給を目指す。

その他の質問事項

○区費（自治会費）について。

○見舞金の規約について。

学校再編計画 委員会で協議

答 岡元学校教育課長
今後の入学予定者数の極端な増加も見込めず、

県内でも少子化傾向や学校の再編統合が進む中で、分校の再開は難しい。仮に廃



一部見直しを検討されている名所・旧跡マップと防災マップ

高機能性食品の開発を急げ

藤井 裕正 議員



問 今農業に、高付加価値の農産物の開発、6次産業化が求められている。NPO、琉球大学、本町美農里館で、高機能性食品として共同研究開発が進んでいる「アマミシマアザミ」の開発を加速させるべきではないか。

答 「アマミシマアザミ」は、抗酸化作用のあるポリフェノール含有量が長命草より数倍あることがわかった。今後は、美農里館での取り組みとヘルシーアイランドへ向けて、予算も含め積極的に進めていく。

積極的に取り組む

高岡町長

「アマミシマアザミ」は、

抗酸化作用のあるポリフェノール含有量が長命草より数倍あることがわかった。今後は、美農里館での取り組みとヘルシーアイランドへ向けて、予算も含め積極的に進めていく。



共同研究中のアマミシマアザミ

防災対策は

問 東日本大震災や昨年本町の防災対策は、どのように進められているのか。小中学校の耐震化対策、海岸付近集落の防災対策等について伺う。

防災組織の強化

答 米原総務課長
自主防災組織の強化に努め、防災マップや海抜表示板等を活用した防災訓練を計画したい。今後地域防災リーダーの育成、避難所の発電機等の設置を検討する。海岸集落の護岸整備は、今後県と協議をしていく。

全学校の耐震化を

目指す

答 岡元学校教育課長
町内の幼・小中学校の校舎・体育館等の施設は、今年度中に全ての耐震診断を終える。今後、27年度内の耐震化率百パーセントを達成するために、建て替え工事や耐震補強工事を順次進める。

安心して産み育てられる島

問 安心してお産ができる島であるためには、産婦人科医の確保が急務となっている。産婦人科医確保の抜本的対策、安心して産み育てられる環境づくりが必要だ。行政の役割とさるなる取り組みについて伺う。

医師等確保部会で

取り組む

答 住田健康増進課長
医師確保には、行政の関わりが重要だ。徳之島の医療と福祉を考える会では、3月に鹿児島市立病院と鹿児島大学病院へ医師派遣を要請した。今後は、この会に設置された「医師等確保部会」で取り組んでいく。

次の定例会は9月です。

みんなで議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)

※ 定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。



議会傍聴の様子



燃料高騰で苦しい経営の漁業



徳田 進 議員

一次産業の救済策

問

今年度のサトウキビの収穫量は、統計開始以来、過去最低となった。サトウキビ農家へ対する支援策が必要。また、増産につなげるために、苗代は収

答

深水農林水産課長
サトウキビの増産につなげる支援策は、苗代を農家に約3分の1補助していく。苗代の収穫後精算払いは、今後関係機関と協議していく。

農家・漁業者への支援

穫後払い、漁業者の経費負担軽減のために燃料費の助成。このような一次産業救済策はできないか。

徳之島を

全国へ発信

問

「徳之島」を全国にPRするため、世界自然遺産登録に向けた取り組みや、加工センター「美農里館」の商品販売計画などを含め、どのような発信方法を考えているか。

答

政木地域営業課長
世界自然遺産については、徳之島観光連盟と共同で、ネットやJALの媒体を使った告知を展開。「美

さまざまな媒体を使う

農里館」については、アンテナショップ、通信販売、ソーシャルネットワークを利用して情報を発信する。

農業経営の安定方策は

福岡 兵八郎 議員



問

自然災害（台風、干ばつ、集中豪雨、病害虫等々）に弱い環境にある徳之島ではビニールあと一枚、ネットあと一枚増やすことで、農業経営が大きくなる。現在の町内ハウス面積は。今後の農業推進方策と戦略品目を示せ。

答

深水農林水産課長
ハウスは、61棟4万1千570平方メートル。今後は、徳之島の水の利用をした作物の推進を県の指導を受けて進める。戦略品目は、ニガウリ・パッション・ソリダコ・スプレー菊・マンゴー等である。

徳之島ダムの水利利用で

土地購入問題

問

平成21年、医療施設整備事業で始まった土地購入問題は、根拠が入っていた（5筆3億500万）ことや徳洲会との契約書がないこと、農地法違反等々の矛盾点11項目もあるが、議会を通過した。現在進めている施設は「砂上の楼閣」にならないか。この問題はもう解決したと認識しているのか。

有効活用で解決

答

高岡町長
土地購入問題は、今後有効な土地活用をするこ

（次ページへ続く）

(前ページからの続き)
とで解決しなければなら
ない。土地は、ずっと存在す
るので、より最善の活用を
することが重要で、それが
解決に向かうと考える。

子どもたちの 食農・防災教育

問 子どもたちの食農教
育について学校、地



炊き出し訓練の様子

域、家庭での推進方策はど
うなっているか。また、防
災教育について、赤十字加
盟校が県内小学校 260
校、中学校 120 校ある。
町内では小中 3 校ずつが加
盟して炊き出し等の訓練を
している。他校の加盟はど
うなっているのか。

伝統行事への 参加で

答 岡元学校教育課長
学校では、学校園の
栽培活動・調理実習・出前
授業・弁当の日を実施。地
域・家庭では、PTA 畑で
のバレイシヨ栽培等の農業
体験や豊年祭・十五夜行事・
夏目踊り等への参加で、各
行事が農業を礎としている
ことを教える。青少年赤十
字には 6 校が未加盟だが、
災害に強い町・人づくり
の一環として加盟を促進す
る。

その他の質問事項
○入札制度について。
○生活環境整備について。
○徳之島の将来の可能性に
ついて。

産科医の負担軽減を



幸 千恵子 議員

行った。また、インター
ネットによる医師緊急募集
を行った。今後は、「医師
等確保部会」を中心に医師
等確保に取り組む。

まず産科医 確保を

答 高岡町長
医師確保のための部
会をつくり、予算も組んで
3 町で取り組んでいる。今
後考えられる対策は、しな
ければならないと考えてい
る。

問 産婦人科医の確保維
持は急務。産科を支
援できる医師の要請や助産
所設置、町に助産師を配置
するなど、産科医の負担を
軽減できる環境づくりも重
要だ。

「徳之島の将来の医療と
福祉を考える会」の取り組
みと展望は。

医師等確保に 取り組む

答 住田健康増進課長
3 町は、産科医確保
支援手当や分娩手当の支給
を行っている。本年 3 月に
鹿児島市立病院と鹿児島大
学病院へ医師派遣の要請を



島で唯一の産科医がいる徳之島徳洲会病院

長期配置の 弊害考慮を

問 同一課勤務期間の基準はあるか。

10年以上同一課勤務者は何人か。またそれはなぜか。人事配置の検討決定は誰が行うのか。今後採用が必要な資格は何か。同一課への長期配置の弊害も考慮する必要があるかどうか。

資格取得者の 採用を検討

答 米原総務課長
同一課勤務についての基準はない。10年以上は6人で資格取得者である。人事の決定は、町長が行う。今後、土木技術者、水道技術者、幼稚園、保育士等の採用が考えられる。長期配置は、今後の資格者採用と含めて検討したい。

交付金は 町民要望優先に

問 「元気臨時交付金」の交付金額はいくらか。

この交付金は、町民から要望が出ていて未対応の道路整備や学校耐震化関連、子どもたちの遊び場整備に優先的に活用することを強く要望するかどうか。

公共施設の整備

答 米原総務課長
交付額は1億9222万円を予定している。今後、町道、農道、防災、学校整備、総合運動公園等の施設整備を計画したい。

- 農家の現状と支援策について。
- 防災対策について。
- 町の土地購入について。
- 建設中のヘリポートについて。
- 副町長職について。

急げ井之川保育所移転

是枝 孝太郎 議員



問 神之嶺幼稚園の施設の耐震補強と、井之川へき地保育所の移転について、どのようなスケジュールになっているのか伺う。

川へき地保育所の移転については、どのようなスケジュールになっているのか伺う。

来年度開所に 向けて取り組み

答 岡元学校教育課長
今後、耐震診断を行うとともに結果を受けて、園の改修工事あるいは、耐震補強工事を終えた上で、園の廃止手続きを取り、保育所の4月開所へ向けて取り組む。

消防団員の研修

問 総務省では、消防団の人員の増を進めているが、今後、町としての

人員確保は、どのように行うのか。また、新人・機関員教育の研修等は、どのようにしているのか伺う。

消防団の 充実を図る

答 米原総務課長
本町の消防団定数は161人で、6人の不足であり、地域での募集や広報

イノシシ防護柵の 設置計画は

問 有害鳥獣駆除対策で、イノシシ防護柵の設置がなされているが、今後のスケジュールと組織編成はどのようになるのか伺う。

母間から 亀徳まで

答 深水農林水産課長
23年度の北部地区から順次行っている。今年度は、母間から亀徳までを予定。8月ごろ関係地区で説明会を開催予定。駐在員を中心に集落受益者等で話し合い、ルート設定や柵設置場所の刈り払い。イノシシ防護柵の管理運営は、各集落で組合長を選出し各集落関係者で行う。



移転が急がれる井之川へき地保育所

議員研修レポート

国際化の動きとTPP協定交渉の現状・見通し

①国際化の動き

日本は、昭和30年にガット（関税及び貿易に関する一般協定）に加入以来、農林水産物の輸入自由化が逐次実施され、現在では、農畜産物は全て関税化されている。

そして、二国間のEPAやFTAの締結の動きが活発化している。日本は、2月にTPPの交渉参加を表明した。

一、EPA（経済連携協定）物・サービスに加え投資の自由化、規制の緩和、制度の調和等幅広い経済関係を強化する。一、FTA（自由貿易協定）一部の国、地域間の物・サービスの流通を自由化する。実質上すべての貿易の関税撤廃が必要とされる。

②現状・見通し

一、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加国、ニュージーランド、シンガポール、チリ、ブルネイ、米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシア、カナダ、メキシコの11カ国。日本は、7月から交渉参加予定。TPPは、EPAの一種であるが、原則関税撤廃という高いレベルの自由化が理念である。

一、我が国の200%を超える高関税の品目 国土条件などにより、外国と国内で特に価格差が大きい米、小麦、粗糖、乳製品等一部の品目は高関税となっている。これは、内外価格差に基づいて関税化されたものである。

一、TPPのメリットとデメリット
TPP協定により貿易が盛んになるといったメリットと逆に農業の衰退を招くのではないかと、食の安全が確保できないのではないかとといったデメリットが指摘されている。安倍総理は、TPP交渉参加表明時に「国益にかなう最善の道を追求め」と表明した。

一、日米共同声明
交渉に参加する場合には、全ての物品が交渉の対象。両国とも二国間貿易上の聖域分野が存在することを認識しつつ最終的な結果は交渉の中で決めていく。

一、自民党決議
農林水産分野の重要5品目等の聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合、脱退も辞さないものとする。

一、TPP協定交渉に関する県等の意見
コメ、サトウキビ、でん粉用サツマイモ、牛肉・豚肉等の農畜産物については、従来どおり関税撤廃の除外品目として取り扱うこと。国益が十分に担保されない場合には、交渉からの脱退も辞さないとする。

一、TPP協定交渉に関するスケジュール
協定交渉会議は、7月、9月にも開催を予定しており2013年中の妥結を目指している。

乳製品、甘味資源作物
一、国会での決議
安倍総理のTPP協定に向けた交渉参加の表明を受け、衆参両院の農林水産委員会は、「TPP協定交渉参加に関する決議」を採択。農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合、脱退も辞さないものとする。

一、TPPに関する県等の意見
コメ、サトウキビ、でん粉用サツマイモ、牛肉・豚肉等の農畜産物については、従来どおり関税撤廃の除外品目として取り扱うこと。国益が十分に担保されない場合には、交渉からの脱退も辞さないとする。

一、TPP協定交渉に関する県等の意見
コメ、サトウキビ、でん粉用サツマイモ、牛肉・豚肉等の農畜産物については、従来どおり関税撤廃の除外品目として取り扱うこと。国益が十分に担保されない場合には、交渉からの脱退も辞さないとする。

一、TPP協定交渉に関する県等の意見
コメ、サトウキビ、でん粉用サツマイモ、牛肉・豚肉等の農畜産物については、従来どおり関税撤廃の除外品目として取り扱うこと。国益が十分に担保されない場合には、交渉からの脱退も辞さないとする。

研修後記

る。10月には、APE C（アジア太平洋経済協力会議）の首脳会議が予定されており、TPP交渉内容についても基本合意される可能性がある。

「国益」とは一体何を基準としているのであろうか。「国益」の名の下に「島」の基幹作物であるサトウキビや牛・豚等を飼育する畜産農家が犠牲になりかねない危惧的狀況にある。島の農業を守る覚悟と行動が必要である。今「島」の存在が外交、防衛上改めて重要性を増している。日本の領土、領海は「島」の存在無くしては成り立たない。「国益」と「島益」は密接な関係にあり決して切り離せない。「国益」とは「島益」を守ることもである。

総務文教厚生委員長
木原 良治

議会の動き

- 4月 春の全国地域安全・交通安全運動出発式（伊仙町）
- 6日 小・中学校入学式
- 7日 転入教職員宣誓式及び研修会並びに管理職等歓迎会
- 8日 議長・事務局長合同会（奄美市）
- 8日 議会だより編集委員会
- 9日 徳之島地区防犯組合連絡協議会会計監査
- 10日 しじゅうにこにこフェスティバル・総会
- 11日 県政説明会並びに奄振延長及び交付金制度等創設に関する状況報告会（鹿児島市）
- 12日 徳之島町地域女性団体連絡協議会総会
- 15日 公明党離党振興対策本部との現地意見交換会
- 16日 徳之島町「学土村塾」開講式
- 16日 徳之島町地域女性連大運動会
- 16日 第2回臨時会
- 16日 第56回奄美群島市町村議会議員大会（天城町）

群島議会議員大会

奄美群島日本復帰60周年記念 6回奄美群島市町村議会議員



議会議員大会

第56回奄美群島市町村議会議員大会が、5月16日天城町で開催されました。当日は、天城町B & G 海洋センターの体育館で12市町村の議会議員、市町村長、奄美群島選出の禧久伸一郎、与力雄の両県会議員等が出席し、会長あいさつ、自治功労者表彰(議員7名、職員2名)、来賓祝辞、国政報告、県政報告がありま



講師の則久雅司氏

また、各市町村(5ブロック)や議長会から提出された議題8件は、県議の皆さんからそれぞれの分野で助言を受け、すべて採択

徳之島三カ町の提出議題は、次のとおりです。



講師の柴田友都氏

◆徳之島における産婦人科医師確保について

56回奄美群島市町村議



緊急提案をする大沢議長

されました。また、今年10月から産科医が不在になるおそれがあるため、徳之島における産婦人科医師確保についての緊急提案が提出されました。その後、県環境林務部自然保護課の則久雅司課長から「復帰60周年、これからの奄美群島」、社会保険労務士・年金コンサルタントの柴田友都氏から「請求もれ年金見つけて親孝行しませんか」と題して講演が行われました。



研修中の議員の皆さん

- 17日 徳之島商工会通常総会
- 20日 第1回あまみ長寿・子宝プロジェクト推進協議会及び産業・観光振興セミナー(天城町)
- 21日 鹿児島新港視察(鹿児島市)
- 22日 県議長会臨時総会・議員研修会(鹿児島市)
- 23日 第24回金婚式
- 24日 徳之島町シルバー人材センター定時総会
- 31日 徳之島建設業協会通常総会懇親会
- 6月 5日 正・副議長研修会(霧島市)
- 12日 各種協議会総会(奄美市)
- 13日 議会運営委員会
- 18日 第2回定例会開会
- 21日 第2回定例会閉会
- 23日 第26回トライアスロンIN徳之島(天城町)
- 25日 徳之島町柑橘生産組合通常総会
- 26日 徳之島空港利用促進協議会総会
- 28日 第50回富山丸慰霊祭懇親会
- 29日 第50回富山丸慰霊祭

町民の皆さまへ 請願書並びに陳情書の提出方法について

町政に対する町民の要望や意見を直接反映させるための方法として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

「請願」は紹介議員を必要とし「陳情」は紹介議員を必要としないという違いがあります。また、請願書並びに陳情書は、所定の要件を備えれば提出できます。

(請願書・陳情書の提出の仕方)

請願（陳情）の趣旨・項目・提出年月日・紹介議員の氏名（署名または記名押印※請願のみ）、提出者の住所・氏名（署名または記名押印。法人が請願・陳情者である場合には、法人の代表者の署名及び法人の印章が必要）を書いて町議会議長宛て提出していただきますようお願いいたします。

様式例

〇〇〇に関する請願書（陳情書）
または 〇〇〇の意見書提出を求める請願書（陳情書）

平成〇年〇月〇日

徳之島町議会議長
〇 〇 〇 〇 殿

請願（代表）者（陳情者）
住 所
氏 名 ①
ほか〇〇人（署名簿がある場合に記載）

紹介議員（請願の場合のみ）
徳之島町議會議員 ①

1 請願（陳情）の要旨
2 請願（陳情）の本文



総務文教厚生常任委員会

陳情に類するものに、嘆願書・要望書・決議書・意見書・要請書・お願いなどがあります。

(請願書・陳情書の審査について)

提出された請願書や陳情書等は、議会でそれを受理し、関係各委員会で審議します。その際、審査当日に現状報告や課題点などについて直接お聞きするためにご出席いただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

結果につきましては、後日郵送で送付いたします。

何かわからないことがあれば、議会事務局 ☎ 0997-82-1111（内線 331）までお問い合わせください。

編集 後記

徳之島の世界自然遺産登録に向けて気運が高まる中、我が日本の象徴ともいえる「富士山」が6月22日、世界文化遺産登録が決定しました。富士山は美しく、荘厳な姿を基盤とし、さまざまな信仰や芸術を生み出した「名山」として世界にふたつとない価値をもっています。

私たちの住む徳之島も世界的に見ても世界自然遺産になれる場所や生物の多様性の宝庫であり、クロウサギを代表とする希少価値の高い生物が生息する森林部の環境の整備、保護を進める上で、まず先に、国定公園化を進めています。これは自治体の果たす役割が大きいといえます。しかし、徳之島の島民ひとりひとりが考え、意識し行動しなければなりません。これは私たちだけの問題ではありません。地球という星の中の小さな島「徳之島」の自然や生態系を全世界の次の世代へ引き継ぐべき「財産」なのですから。

文責 芝田 竜星

議会だより編集委員

- 委員長 広田 勉
- 副委員長 徳田 進
- 委員 幸 千恵子
- 委員 行沢 弘栄
- 委員 芝田 竜星